



病院だより

発熱外来と感染症予防について

～新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザに罹らないために～

① 発熱外来

美祢市立病院では、新型コロナウイルス感染防止対策として、発熱患者さんの診察については、夜間救急受付側にコンテナ診療室を設置し、こちらで診察を行っています。

感染防止対策として、発熱時に受診を希望される際は、必ず当院へ事前に電話連絡をお願いします。その際に来院時間を調整させていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、この診療室内には、陰圧装置を設置しています。陰圧装置とは、室内の空気をフィルターに通し、外気へ排気することで、室内の気圧を低く保ちます。このようにすることで、常に室内に空気が流れ込む気流となるため、汚染物質の拡散リスクを低減することができます。



② 感染症予防

冬に向け、新型コロナウイルス感染症の流行が懸念されますが、それと併せ季節性インフルエンザの流行も懸念されます。昨年度は、**新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力いただいたおかげで、インフルエンザの市内での発症はありませんでした。**いかに「マスクの着用・手指消毒の徹底」が感染予防として重要であるか、改めて認識したところです。

また、新型コロナウイルスワクチンと季節性インフルエンザワクチンの接種には、2週間程度期間をあける必要があります。計画的な接種をお願いします。

市民の皆様には、不自由な生活を願いますが、**引き続き新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの感染防止対策として、「不織布マスクの着用・手指消毒の徹底」の実施をお願いします。**併せて、感染リスクの高い行動をお控えいただくことが、1日でも早く通常の生活を取り戻すための方法と考えています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

感染リスクが高まる場面

場面 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面 マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

